

COVID-19 ワクチンを接種する妊婦・授乳婦の方へ

小張総合病院 産婦人科 医長 島貫洋太

新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大と同時に、ワクチンの供給が進む中で、妊娠中、授乳中でも接種が推奨されています。（別紙参照）

COVID-19 ワクチンを接種する方は、接種前後について以下をご参照下さい。

接種日程

- ・妊娠中は時期、週数を問わず、接種して良いです。
- ・授乳中の接種で授乳の中止や搾乳、乳汁廃棄の必要はありません。
- ・出産で2回目の接種が遅れる可能性について、以下の点に留意して下さい。
 - a) 延期の可能性について、接種会場と共有、確認をしておきましょう。
 - b) 延期となる場合は、1回目から6週間以内を目安に調整しましょう。

接種会場

- ・予診票や問診を通じて、妊娠中、授乳中であることを伝えて下さい。

アセトアミノフェン

- ・妊娠時期を問わず内服できる解熱鎮痛薬です。
- ・発熱、頭痛の軽減効果が期待できます。
- ・市販薬も使用できますが、複合・配合薬などに注意しましょう。
具体例：タイレノールA、バファリンルナJなど
- ※ 薬剤師の確認、指示の下の使用をおすすめします。
- ・授乳中は他の解熱鎮痛薬を使うことができます。

各学会のお知らせ

日本産科婦人科学会

http://www.jsog.or.jp/modules/jsogpolicy/index.php?content_id=10

日本産婦人科医会

<http://www.jaog.or.jp/covid>

日本産婦人科感染症学会

http://jsidog.kenkyuukai.jp/information_detail.asp?id=114274

現時点での情報であり、今後治験等の結果によって変更となる場合があります。予めご了承ください。